

**第205回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会**

日 時: 2007年7月20日(金) 13時~17時35分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館) アクセス**  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

---

**講演主題: 親水性相互作用クロマトグラフィー vs 逆相クロマトグラフィー**

親水性相互作用クロマトグラフィー(HILIC)は逆相クロマトグラフィー(RPLC)で保持しないような極性化合物の分離に適しており、選択性の点でRPLCと補完関係にある有用な分離モードです。HILICが現在HPLCの主力分離モードであるRPLCにどこまで対抗できているか、問題点は何かを議論して行きます。

**講演**

1. **講演主題概説** (13:00~13:05)  
(アジレントテクノロジーズ(株))吉田 達成
2. **親水性相互作用クロマトグラフィー(HILIC)イントロダクション** (13:05~13:35)  
(アジレントテクノロジーズ(株))吉田 達成
3. **逆-逆相クロマトグラフィー応用例~サンプル前処理からカラム分離まで** (13:35~14:05)  
(日本ウォーターズ(株))佐々木 俊哉
4. **3ミクロンHILICカラムを用いた極性化合物の分離** (14:05~14:35)  
(東ソー(株))富澤 洋
5. **スルホベタイン型HILIC固定相の水和と保持機構** (14:35~15:20)  
(株)クロマニックテクノロジーズ)井上 嘉則
6. **環境応答型充填剤における親水性相互作用を利用した分離挙動について**  
(15:35~16:05)  
(共立薬科大学薬学部)金澤 秀子
7. **生体試料中薬物濃度測定におけるHILICカラムを用いたLC/MS/MS分析の諸問題** (16:05~16:35)  
(株)東レリサーチセンター)竹澤 正明
8. **総括** (16:35~17:05)  
(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:

4,000円、学生：500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

### カタログ展示

1小間：5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

### 懇親会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費：1,000円。

---

### 申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

### 申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話：03-3490-3351、FAX：03-3490-3572、E-mail：[hm\\_tanaka@jsac.or.jp](mailto:hm_tanaka@jsac.or.jp)]